★学ぼう！宝たち★

令和４年９月１２日　　第２号
宝達志水町立宝達中学校　学習指導部より

放課後学習（Treasure Learning Time=トレラン）が始まりました！

今年度の本校の学習目標は,「自ら考え, ともに学び合い認め合う生徒～言語活動を通して～」です。１学期の学習活動全体を通して見えてきた課題は以下のとおりです。

①言語活動のさらなる充実（宝達スタイルのうち，考える場・発信する場の強化）
②家庭学習の充実（復習の時間と自由時間のバランスをはかる）
③読解力・表現力・人に分かりやすく伝える力の育成

そこで，各クラスの学活では２学期どんなことをがんばりたいか話し合いをしました。また，９月５日からは新しく**放課後学習を取り入れています。**これは，自分の力量に合わせて教科とそのレベルを選択し，問題演習に取り組むものです。選択の幅が広がるとともに，同じ悩みを持つもの同士が集まることで自然な学び合いが生まれることが期待されます。**水曜日はアクティブ・トーキング（対話タイム）**とし，全校が１つの新聞記事を読み込み，テーマについて議論する時間としています。初回テーマは**＜宝達志水町の皆から見ると，能登町“イカキング”作成についてどう思いますか？＞**としました。子どもたちは話題性のあるテーマに対して，楽しそうに議論する姿が見られました。

賛成

・しっかり結果が出ている。
・国が示した活用事例に合っている。
・人が集まった。
・

反対

・こんなものをつくるなら医療従事者に渡すべき
・逆に人を呼んでコロナを広めている
・町に利益があっても町民にはない
・コロナが収まったあとに別の資金で創作するべきだった。
・コロナ対策の予算なので使い方がおかしい

タブレットで記録された各班の考え。利点・欠点は，コロナ対策としては，町民にとってはなど，色んな面から考えることができていました。

その他の意見

・いかにマスクを付けたりしてコロナに関係がある仕様にすればよかった。
・

賛成

・経済効果が22倍
・来訪者が急増
　→飲食店が潤った
・商品券は地方ごとによっては
　店が少ないと意味がない
・イカの出荷が増えた

反対

・観光客が増えてしまった
　→コロナ対策になっていない
・経済効果を継続できる保証はない
・
・

時間いっぱい意見を出し合う姿が見られました！

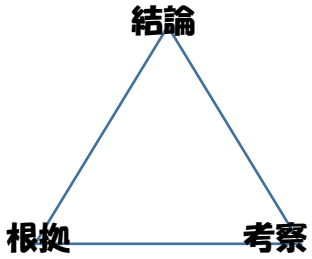
その他の意見

・イカキングによってできたお金の使い道がわからない
・商品券などのひとりひとりを補助できるような取り組みも欲しい

効果的に表現し，
分かりやすく伝えるために！

Treasure Logic（トレロジ）

右の図を見てください。これは三角ロジック（論理法）といいます。



相見小学校出身の人は経験があると思います。分かりやすく，自分の結論（意見や主張）を相手に伝えるためには，根拠となる事実を示し，その事実をもとに理由づけをするとより説得力が増すのです。

９月７日のアクティブ・トーキングのテーマでは，どのように人に伝えましたか？

＜××な例＞

①「私は反対です。なぜなら，反対だからです。」**（根拠・考察なし。）**

②「私は賛成です。なぜなら，経済効果が 18 億円あったからです。」
（事実のみ。考察なし。）

③「私は反対です。なぜなら，町民にとってはムダ使いにしかならないからです。」
（考察のみ。町民が本当にそう思っているかの根拠となる事実を示す必要がある。）

特に②や③のパターンになっていた人が多かったのはないでしょうか？

三角ロジックをしっかり使い，さらにいろんな国語の手法を使ってみると以下のような文章になります。このロジックを**「Treasure Logic（略してトレロジ）」**としました。

次回はトレロジを意識して話をしてみてください。どんなテーマになるのか，お楽しみに！

「つまり」や「例えば」を使うとさらに説得力 UP！

根拠が２つ以上あるときは，「ひとつめに～」や「まず～」と表現

＜トレロジを使った例＞

私は珠洲市の巨大モニュメント作成には賛成です。その理由は三つあります。

まず、結果として大きな収益を上げられたのは成功だったと思います。確かに地方創生のため、二千七百万円も使ったことは無駄遣い**だという意見もありますが、**収益がその二十二倍もあったというのは地域の活性化に貢献した結果だと言えます。

また、このニュースは海外メディアにも取り上げられ、大きな話題を呼んだということで、能登の小さな町の知名度を上げる結果となったのはよいことだと思います

さらに、この結果がほかの町にも、大きな刺激になったと思います。その根拠は、この記事の最後が「２匹目のドジョウならぬ、イカキング効果の再来を狙う」と締めくくられているところにあります。**つまり**地元では一度の成果で満足せず、関連商品の開発で、次の手を考えていることが分かるからです。このことは、他の地域にとっても大きなヒントになるのではないかと私は考えました。

このように、同じ石川県の能登の町が地方創生で、日本や世界で大きな話題になることは、私たちにとっても自信につながり地方を元気にするよいきっかけになると思い、巨大イカのモニュメント作成には賛成です。

結論（もう一回主張） ／ **本論（根拠と考察）** ／ **反論を想定** ／ **序論（主張）**